辰野町国道153号整備促進協議会 ワークショップ ニュース

第5号 第5回ワークショップの報告 平成24年2月21日開催

第 5 回 ワークショップの報告

昨年の 10 月 21 日から始まった辰野町国道 153 号整備促進協議会のワークショップも最終回となりました。

前回までのワークショップの中で、地域の皆さんが考え、話し合った成果を技術的 観点から検証して取りまとめたものを全体で確認しました。

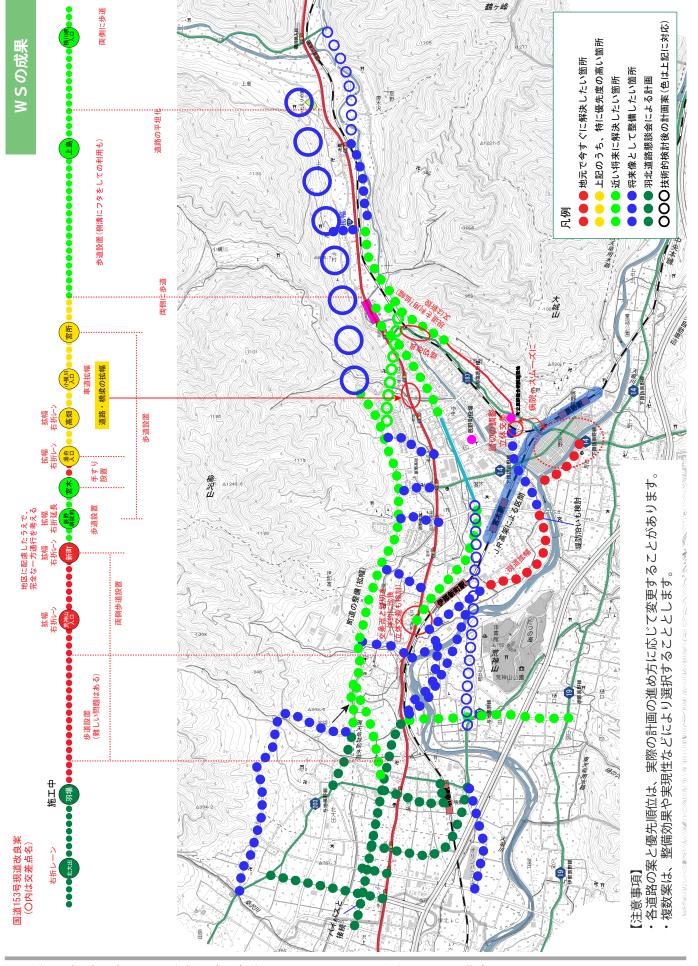
基本方針

- ■初回ワークショップで確認された、辰野町における道路の将来像
 - ・安心、安全に利用できる道路とするために、役割を明確にすることが重要。
 - ・生活道路、幹線道路それぞれの役割に応じ、道の連続性や利便性を高め、住民の安心 と町の発展につながる道路を考えること。
 - ・将来像と現実を段階的に考え、現状の課題を解決する方策を早期に実現すること。
- ■将来像を実現するために、ワークショップの中で考えた地域の"基本方針"
 - ◎通過交通を街中に入れない。
 - ◎生活道路の安全を確保する。
 - ◎道のつながりを良くする。…まちに人を呼込む。

バイパスが実現しても辰野町の市街地、あるいは住宅地への車の流れが皆無になることはあり得ませんし、幹線道路が整備されれば、現状よりも道路の利用者が増えることも考えられます。中でも観光目的の利用者などを町に呼び込むことや、業務目的の利用者の利便性を高めることで、町全体の活性化を図ることも可能となります。そのため道路を明確に役割づけし、幹線道路と市街地との道路ネットワークを充実したいという地域の願いが込められています。

■地域で考える計画上の留意点

- ○国道 153 号の現道改良は、全線に渡って見直し、将来を見据えたものとすること。
- ○トンネルは町の発展のためには避けるべき。
- ○都市計画道路を実現することも検討する。
- ○国道 153 号は現道とバイパスを並行して進めたい。
- ○バイパスが実現したとしても現道改良は必要→生活道路の改良を優先
- ○経済効果よりも地域の安全を優先させる。
- ○東側のバイパスは厳しいと思う(JRとのすり合わせ等)
- ○新病院へのルートも必要



発行及び問合せ先: 辰野町役場 建設水道課

編集 :株式会社ワイド 伊那市西町 5845-1

電話 (41)1111(代表) 電話 0265(78)7533(代表)